

みんなキラリと

市では、誰もが自分らしく暮らすことのできるまち「ダイバーシティもりや」の実現を目指し、さまざまな多様性を自分ごととして見つめてもらうため、毎回異なるテーマをご紹介します。

vol.9 レインボーフラッグ

LGBTの尊厳と社会運動のシンボルとして用いられているものに「レインボーフラッグ」というカラフルな旗があります。「あの旗のことかな？」と思われた方も少なくないのではないのでしょうか。

レインボーと聞くと、虹=7色とイメージするかもしれませんが、実は7色ではありません。一番上から「性」を意味するピンク、「生命」を意味する赤、「癒し」を意味するオレンジ、「太陽」を意味する黄、「自然」を意味する緑、「芸術」を意味するターコイズ、「平穏・調和」を意味する藍、「精神」を意味する紫となっています。デザインが作成された当初はこの8色でしたが、LGBTの運動が広がるにつれて、たくさんの数が必要となり、簡単に作れるようピンクとターコイズを除いた6色に落ち着いたという経緯があります。

構成される色が持つ意味が「当たり前」に存在しているものを示していることから、「性的マイノリティであることは特別なことではない」といった意図や、「虹」というテーマから「たくさんの色を含む美しいもの=多様性の象徴」という意味があるといわれています。

【さまざまなレインボーフラッグ】

・バイセクシュアルフラッグ

ピンク・青・紫の3色で構成

[意味]ピンク：同性の魅力 青：異性の魅力

紫：男女両方の魅力

・トランスジェンダーフラッグ

ライトブルー・ピンク・白・ピンク・ライトブルーの順番で構成

[意味]ライトブルー：男の子 ピンク：女の子 白：移行期

・ノンバイナリーフラッグ

黄色・白・紫・黒の4色で構成

[意味]黄色：男女以外のジェンダーを自認する人

白：多くのジェンダーを自認する人

紫：ジェンダーを男女の組み合わせであると自認する人

黒：ジェンダーを持たないと自認する人

※ノンバイナリーとは、性自認（こころの性）が、男性・女性という枠組みにはっきり当てはまらない、また、当てはめようとしていない方。



今回ご紹介したもののほかにも、レインボーフラッグは、さまざまなデザインがあります。旗のデザインや色が持つ意味、作られた経緯や意図を知るとはダイバーシティの理解につながります。「あの旗何だろう？」という気づきや疑問を大切に、ぜひ調べてみてください。